



学校だより

浜小HP <http://www.ama-net.ed.io/school/E15/index.html>

H31.2.4(月) NO.13
尼崎市立浜小学校
校長 中根 孝介
06-6499-1536



「自分は愛されている！」

今年は、各地でインフルエンザが大流行し、ニュース等でも大きく取り上げられています。尼崎市の小中学校でも、インフルエンザや集団風邪の罹患者が急激に増加し、学級閉鎖が相次いでいる状態です。ご家庭の皆様はいかがでしょう。浜小学校では、2年生の1学級が学級閉鎖になりましたが、その後、大流行というほどには至っていません。しかしながら、まだまだ油断はできませんので、各家庭でもご注意いただければと思います。

さて、「子ども達が健やかに育ち、やがて自立し、自分の夢や希望をかなえてほしい」という願いは、ご家庭の皆さんはもちろんのこと、学校、地域社会の共通の願いでもあります。子どもが健やかに育つためには、様々な要素や条件があるかと思いますが、その中で、一つ取り上げたいと思います。子ども自身が「自分は愛されている」という感情を持つことができるよう周囲の人々（大人）が見守り、支援していくことです。

「自分が愛されている」と感じることができる子どもは、満足感と安心感を得ることができます。満足感や安心感を得ることができれば、がんばろうという気持ちやチャレンジ精神も持つことができます。挑戦したことがたとえうまくいかなかったとしても、親や家庭、地域、学校という心のよりどころがあることは、子どもにとって大きな救いになります。

大切なことは周囲の大人が「愛情を持っているよ」ということが単なる自己PRだけに終わらずに、子ども自身がそのことを受け止め、「自分は愛されている」ということを感じられているかどうかということです。

いくら愛情は持っても、それが子どもに伝わっていないのであれば、それはずいぶん残念なことです。子どもが「自分は愛されている」という感覚を持ち、一日一日、満足感を持ってすごすには、周囲の大人にも少し工夫が必要です。いくつか紹介してみたいと思います。



① 子どもの話をしっかり聴き、まずは受け止める。

人は子どもに限らず誰でも自分の思いや考え、行いを認めてほしいものです。大人も忙しくしていて、大変な思いをすることも多いですが、まず、子どもの話をしっかり聴いて、大人からすると「そんなことは無理だよ」とか「自分勝手なことを言って・・・」と思うことでも、いったんは「あ～、そう思っていたんだね」「そんな風に考えていたんだ」「それで怒っていたんだ」と受け止めてあげることで、子どもは安心します。

② 子ども達のよい行動や成長を認め、ほめる。

自分の行動を認めてもらい、ほめてもらえると、少なからずうれしいものです。本人が自慢したことやがんばったこと（たとえ期待した結果が得られなかったとしても）について、「すごい！やったね！～～できたね」「一生懸命がんばっている姿が素敵だったよ」「胸を張って、真剣な目でがんばってる様子を見て感激しちゃった」などと大げさに思えるくらいほめてあげるのもよいでしょう。また、本人も気づいていないような成長についても「最近、我慢強くなってきたね」とか「おかたづけがすぐできるようになってきたね」などと認めたり、何かお手伝いをしてくれたときに「いつもありがとう。〇〇してくれて助かっているよ」と感謝を伝えたりするのもよいでしょう。ほめられることは次への意欲と挑戦につながっていきます。

③ 大人としての意見を伝える。

いつもよいことだけとは限りません。子どもは、時には誤った行動やわがままな行動をすることもあります。そんなときは、頭ごなしにしかるだけでなく、子どもの思いを聴いていったん受け止めた上で、自分の意見として伝えたり、子どもの意見を聞き出したりする形で、子どもの言動を正していく方がよい場合も多いです。「私は、こうしたほうがよかったと思うよ」「相手のお友達はどう思ったやろうね？」などと本人の気づきを促したり、「今の優しい気持ちを忘れないでいてほしいね。」などと素直な気持ちを表しながらそれとなくほめたりするのも一つの方法です。

④ 適度にスキンシップを持つ。

スキンシップも愛情表現の一つです。ご家庭で、「がんばったね」と肩を軽くたたく。ぎゅーと抱きしめる。手を握る。ハイタッチをする。など、場面や状況に合わせてスキンシップを持つと、子どももきっと愛情を感じることでしょう。

今後も学校でも、子ども達の育ちを支援していくことができればと思います。ご家庭でもご理解とご協力、ご支援をお願いいたします。

裏面に続く

《全国学力学習状況調査 6年生対象》

4月に6年生を対象に行われた全国学力学習状況調査が行われました。本校の結果と分析内容をお知らせいたします。この調査は、児童の学習の定着度や学習意識、家庭での学習状況を客観的に把握し、今後の指導に役立たせるために実施しています。平成30年度は、国語、算数、理科の3教科と学習等に関する意識調査が行われました。また、本年度は尼崎市独自で全学年にわたって、あまっ子ステップアップ調査（学力学習状況調査）を行いました。ひとりひとりの学力ののびや課題を分析し、ひとりひとりの課題に応じた補充プリントなどをすることで、尼崎市の小中学生の学力の向上につなげていこうという取り組みです。

(国語A・算数Aは主に知識、国語B・算数Bは主に活用に関する問題で学習内容は5年生までの内容)

●国語 AB・算数 AB・理科とも平均正答数で、尼崎市平均、全国平均を下回っていました。

【国語】

●「話す・聞く力」「読む力」「書く力」「言語についての力」の各観点において、全国・尼崎市平均を下回っており、課題があります。⇒言葉の意味や内容をしっかりととらえながら文章を読み解いていく力を身につけていく必要があります。

●漢字についても十分書くことができていない場合があり、漢字の読み取りや書き取りを徹底（繰り返し練習）していくことが大切です。

【算数】

●こみ具合を比べる問題では、一部全国平均を正答率が上回っている問題もありますが、計算や図形など全般的にまだまだ十分とは言えず、基礎基本から繰り返し学習していく必要があります。

●特に、活用力が問われる記述式（文章や図形をかいて解答する問題）では、無解答の割合も高く、じっくりと問題を読み解き、課題を把握し、筋道立てた学習に取り組んでいくことが大切です。

【理科】

●問題によっては、全国平均に迫る正答率を示す問題もありました。全般的には解答が難しい場合も多かったようです。

【学習状況調査（質問紙）】

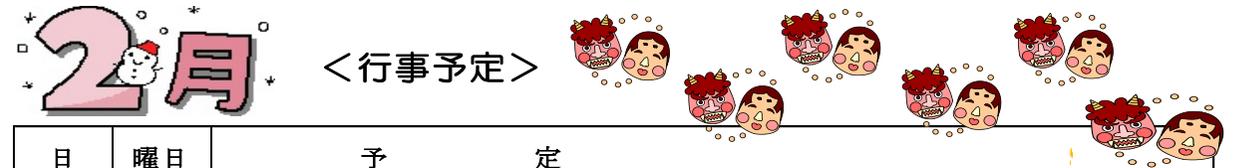
●規範意識（きまりを守る意識）は、ここ数年で上がってきている。

●宿題をしている割合は全国平均とほぼ変わりません。学校外での勉強時間（塾等を含めて）や読書時間が増加傾向にはありますが、全国平均と比べるとまだまだ少なく、計画を立てて家庭学習をしたり、宿題以外で復習や予習をしたりしている児童の割合もかなり低くなっています。

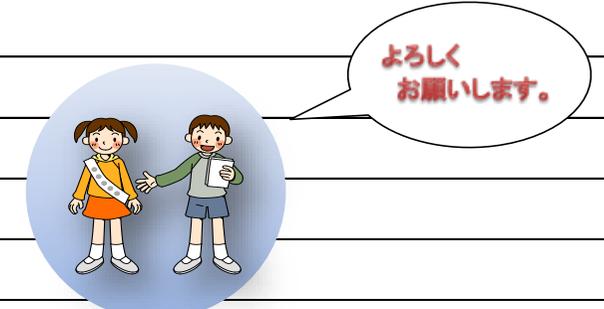
●家庭での過ごし方としては、①テレビやDVDなど ②ゲーム（スマホやPCゲーム等を含む） ③メールやインターネット に費やされている時間が全国平均よりかなり多く、これらの機器に依存している傾向が伺えます。

浜小学校では、今後も主体的、対話的な深い学びに向け、子ども達がより理解できるよう授業の改善に向けて取り組んでまいります。

学校と家庭が協力して、学校からの宿題だけではなく「自分から勉強する習慣」が身につく、学力が定着していくよう取り組んでいきたいと思っております。ご協力をお願いいたします。



日	曜日	予 定
1日	金	小田地区バスケットボール大会（6年）
4日	月	朝会 クラブ活動（3年見学） わくわく浜っ子タイム 生活がんばり表チェック週間（8日まで）
5日	火	5校時終了後下校
6日	水	劇団四季鑑賞（6年）
7日	木	児童会役員選挙
8日	金	新1年入学説明会
11日	月	建国記念の日
12日	火	参観・懇談（ひまわり）
13日	水	参観・懇談（1～3年）
14日	木	参観・懇談（4・5年）
15日	金	参観・懇談（6年）
18日	月	集会 クラブ活動
20日	水	お別れ遠足（ひまわり）
22日	金	小田北中学校訪問・クラブ体験（6年） 社会見学（5年）
25日	月	朝会 委員会活動・代表委員会
26日	火	6年生を送る会
28日	木	小田地区合同学習会（ひまわり） 友長会



学年のまとめを
しっかりやりましょう。

< 3月の主な予定 >

3月18日（月）給食終了

3月20日（水）卒業証書授与式

3月25日（月）修了式

※1～4年は、休業日

